あなたの命にかかわる速報です。





即

平成19年10月1日スタート!

緊急地震速報とは?

地震の発生直後に、震源近くで地震 (P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される 揺れの強さを自動計算。地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒〜数十秒前に、素早くお知らせする新しい情報です。ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い 揺れに間に合わないことがあります。気象庁のホームページ(http://www.jma.go.jp)

緊急地震速報の受け方

震度5弱以上が推定される場合に、テレビ・ラジオを通じて速報が受けられる予定です。 また、情報提供会社からインターネット、CATV回線などを利用してパソコンや専用端末に伝達するサービスや、揺れの大きいエリアにいる携帯電話ユーザーに一斉同報配信する サービスも予定されています。※緊急地震速報利用者協議会のホームページ(http://www.eewrk.org/)などを参照

緊急地震速報を受けたら

周囲の状況に応じてあわてずに、まず身の安全を確保しましょう







かぐからはなれる



へいからはなれる



-落ちてくる ものにちゅうい



あわてて外に とびださない



近くの階でおりる



急ブレーキを かけない



ハザードランプ をつけて減速

国土交通省 **気象庁** · 緊急地震速報利用者協議会



内閣府·気象庁

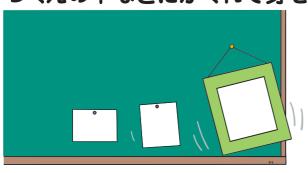
強い揺れが来 と聞いたときは

何ができるかな?



议にいたら?

先生のいうことをよく聞いて つくえの下などにかくれて身を守ろう





にいたら?

ブロックべいなど、たおれたり おちてきたりするものから

はなれよう



にのって いたら?

ーキにそなえて、手すりなど にしっかりつかまろう



こくさんいる

にいたら? あわてて出口に走り出さず、係の人 にしたがいおちついて行動しよう



とつぜん揺れたときも、行動は同じだよ



問い合わせ先

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

TEL: 03-3212-8341

ホームページ:http://www.jma.go.jp/





内閣府·気象庁

家庭では

- ・頭を保護し丈夫な机の下などに 隠れる
- あわてて外へ飛び出さない
- ・無理して火を消そうとしない





人がおおぜいいる施設では

- 係員の指示に従う
- ・落ちついて行動
- あわてて出口に 走り出さない



緊急地震速報「利用の心得」

白動車運転中は

- ・あわててスピードを おとさない
- ・ハザードランプを点灯 し、まわりの車に注意 を促す
- 急ブレーキはかけず、 緩やかに速度をおとす
- ・大きな揺れを感じたら、 道路の左側に停止



周囲の状況に応じて あわてずに まず身の安全を確保する!

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が<u>数秒から数十秒</u>しかありません その短い間に身を守るための<u>行動を取る必要</u>があります

屋外(街)では



- ・ブロック塀の倒壊等に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意
- ・丈夫なビルのそばであればビルの中 に避難

鉄道・バス乗車中は

・つり革、手すりに しっかりつかまる



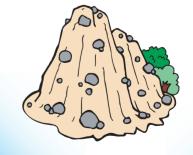
エレベーターでは

・最寄りの階で停止させ すぐに降りる

山やがけ付近では

・落石やがけ崩れに注意







「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先 気象庁地震火山部管理課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号

電話: (03) 3212-8341(代表)

気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html

※緊急地震速報は、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果と、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発の成果により、可能となりました。



緊急地震速報利用者協議会制定のロゴマーク





平成19年7月6日に、緊急地震速報利用者協議会が緊急地震速報のロゴマークを制定。 ロゴマークの利用に関してのガイドラインは、利用者協議会で作成中のところとのこと。近々ガイドラインが示される予定ですが、それまでの間はピクトグラム、ロゴマークの使用については気象庁までご相談〈ださい。

緊急地震速報利用者協議会制定のピクトグラム



ピクトグラムに緊急地震速報に関するものであることを示す字句を付加した例 (参考)

